



湖南防火保安協会会報

# あお 碧い纏

発行

令和4年11月9日発行  
栗東市小柿三丁目1番1号  
湖南広域行政組合総合庁舎内  
湖南防火保安協会  
TEL(077)552-3000  
FAX(077)552-3735  
HP: [湖南防火保安協会](http://www.konanbouka.com) [検索](http://www.konanbouka.com)  
E-mail:konanbouka@ex.bw.dream.jp

第111号

令和4年湖南防火保安協会防火標語

## 『消したかな 気にする習慣 大切に』

作：株式会社ジーエス・ユアサテクノロジー草津事業所 宮本 健一様



第46回自衛消防訓練大会

令和4年10月19日(水)

湖南広域消防局 東消防署 消防訓練場

令和4年10月19日(水)、野洲市辻町の湖南広域消防局東消防署消防訓練場を訓練会場として、草津市長様をはじめ、多数来賓の御臨席を賜り、秋晴れの中、第46回自衛消防訓練大会を盛大に開催することができました。

この大会は、南支部及び北支部の会員事業所が一同に介し、消防法令に基づき、定期的に実施されている消火訓練の技術向上と、その成果を発表する機会として、消火器男子・女子の部、屋内消火栓操法男子・男女混成の部に、55事業所、総勢151名の御参加をいただき、それぞれの訓練とも日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮していただくことができました。

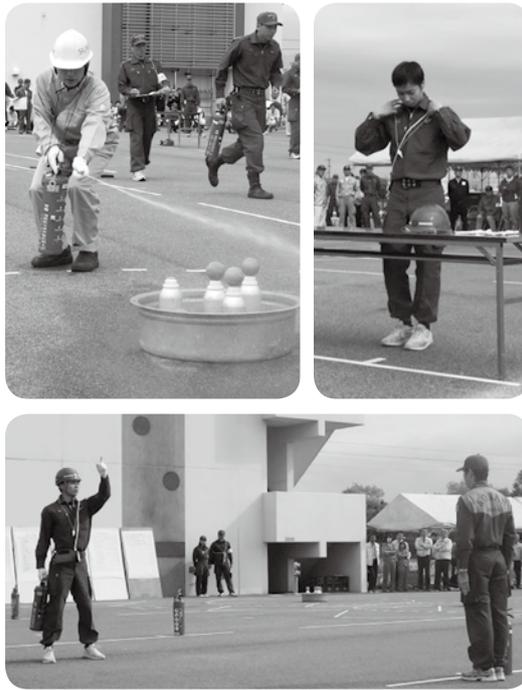
今大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和元年に開催してから2年間の中止を余儀なくされ、3年ぶりの開催となり、未だ感染の終息が見えないことから規模を縮小し、大会種目及び参加人員を制限しての開催となりましたが、皆さんハツラツと参加され企業防災の向上を図ることができました。

# 消防訓練大会

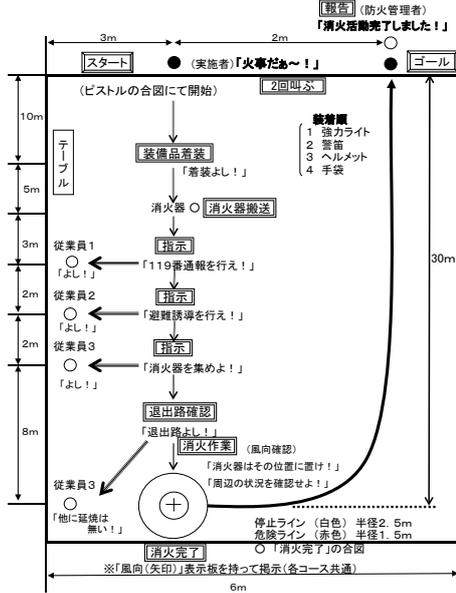
## 訓練種目の紹介

### ◆消火器の部

この訓練は、従業員1名で事業所における初期消火を総合的に実施するもので、火災を認知した時点からスタートし大声で火災であることを周りに知らせ、実施者自身が保護ヘルメットなどを装着し、付近にいる従業員に119番通報・避難誘導・消火器の収集を指示し、水消火器を使用し標的を落下させる訓練です。  
基準タイムは、60秒です。

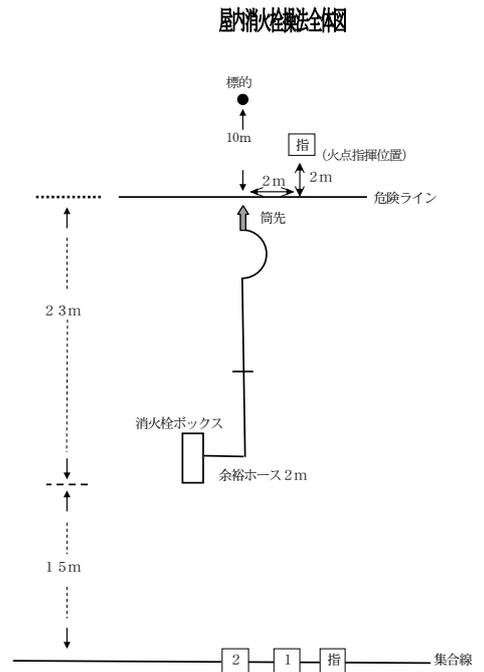


消火器の部全体図



### ◆屋内消火栓操作法の部

この訓練は、3名の隊員が協力し、屋内消火栓を使用し、放水にて標的1箇所を倒す訓練です。  
屋内消火栓は、事業所建物内に設置され、火災の初期から中期にかけて使用する消防用設備で、一定規模以上の事業所に設置する義務があり、有効な消防用設備です。  
基準タイムは、30秒です。



## 局長講評

湖南広域消防局 消防局長

行 村 浩 一

皆さん訓練参加、大変お疲れ様でした。

湖南防火保安協会主催の自衛消防訓練大会は、昭和50年から開催され、今年で第46回を迎えた歴史ある大会です。今年も南支部と北支部から55事業所151名のご参加をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となった本大会でありましたが、活気ある行動で迅速かつ的確に訓練されるお姿を拝見することができ、大変心強く感じたとところです。

さて、令和4年の当消防局管内における全体の火災は69件で、そのうち事業所の火災は19件発生しています。事業所の火災件数は、全体の28パーセントになります。

しかしながら全国的に見ますと、火災発生件数は低い水準で抑えられており、事業所の皆さんの防火意識の高さの表れではないかと感謝しております。

# 第 46 回 自 衛

## 第46回自衛消防訓練大会成績表

### 消火器（男子）の部

賞	事業所名	氏名
最優秀賞	ダイキン工業株式会社滋賀製作所	平嶋 一樹
優 秀 賞	積水化学工業株式会社滋賀栗東工場	岡本 翔太
	三恵工業株式会社	嶋田 達也
	三恵工業株式会社	村上 集人
	西日本積水工業株式会社	荻野 陽色
	スターライト工業株式会社	東 孝祐
	日東電工株式会社滋賀事業所	山本 康太

### 消火器（女子）の部

賞	事業所名	氏名
最優秀賞	ダイキン工業株式会社滋賀製作所	村田 里世
優 秀 賞	積水化学工業株式会社滋賀栗東工場	上杉 行乃
	川重冷熱工業株式会社滋賀工場	長嶺 千恵
	三恵工業株式会社	小澤 摩耶



### 屋内消火栓操法（男子）の部

賞	事業所名
最優秀賞	積水化学工業株式会社滋賀栗東工場
優 秀 賞	西日本積水工業株式会社
	呉羽テック株式会社
	イサム塗料株式会社滋賀工場

### 屋内消火栓操法（男女混成）の部

賞	事業所名
最優秀賞	ダイキン工業株式会社滋賀製作所

これから季節的にも火災が発生しやすい時季を迎えるため、11月9日から15日までの1週間、「秋の火災予防運動」を展開して参ります。住宅及び事業所における防火安全対策の徹底、幼年期における防火・防災対策の推進、放火火災防止対策の推進等を重点目標としています。事業所におきましては、防火管理体制の充実や自主防災組織等の育成強化等を掲げておりますので、火災の被害を軽減するために、防火管理体制の再確認をはじめ、自主防災組織等の教育や訓練として、「初期消火」通報・連絡「避難誘導」、この三つの行動が取れるように心掛けていただき、防火対策の強化につなげていっていただきたいと思えます。

結びに、大会役員として運営にご尽力いただきました北中会長様を始め、実行・運営委員の皆さまに心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

今後とも消防局との連携を強化しながら、湖南四市の「安心・安全」な街づくりのため、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

大変お疲れ様でした。

# 講習会・研修会だより

## 危険物取扱者試験に伴う講習会開催

予備講習会

①5月21日②7月16日③10月1日

直前対策講習会

①5月28日②7月23日③10月8日

の3回開催しました。

製造所等において、危険物を貯蔵し、または取扱う場合は、消防法の規定により、危険物取扱者の免状を有さなければなりません。当協会では、危険物取扱者免状の取得の手助けとなるための講習会を年5回実施しております。

次回の予備講習会

④11月26日⑤2月11日

直前対策講習会

④12月3日⑤2月18日

に予定しておりますので、受講の問い合わせは、各消防署庶務管理係又は本会事務局までお願いいたします。



守山市防災センターにて開催

多くの皆さんの受講をお待ちしています。

今後の予定は

- 第4回 12月6日～7日
- 第5回 令和5年2月1日
- 第6回 3月14日～15日



守山商工会議所にて開催

## 防火管理講習会の開催

防火管理者は、防火管理上必要な業務を適切に遂行することができる管理的又は監督的な地位にある方で、防火管理に関する知識及び技能の専門家としての資格を有していることが必要です。

その資格は、消防長等が行う防火管理講習修了者又は、防火管理者として必要な学識経験を有すると認められる者に付与されます。

湖南防火保安協会では、日本防火・防災協会と委託契約し平成30年から開催しています。

## 防火研修会の開催

令和4年度事業計画では、防災研修会を7月に開催予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から延期したためこの度次のとおり計画しました。

### 【目的】

事業所では、平常時から災害に備える取り組みは不可欠であり、万が一災害が発生すれば被害を最小限に防ぐ必要があります。

事業所の施設用途や規模等により、被害状況は様々であることから、本研修では過去の火災事例を検証しながら火災予防体制を図るとともに、危険物施設の災害防止策等を主眼に防火研修会を開催するものです。

### 【日時】

令和4年12月9日（金）  
13時30分～15時30分

### 【場所】

草津市コミュニティー防災センター  
（西消防署併設）

### 【定員】

60名

### 【申し込み】

（定員になり次第締め切りとします。）  
保安協会事務局まで（申込書有）

## 新規会員紹介

- MMIセミコンダクター株式会社  
（野洲市市三宅）
- 株式会社エム・ジー・アイ  
（守山市吉身4丁目）
- リカーショップ サカコー  
（守山市洲本町）

## 災害時消防活動等

### 支援登録事業所

- イオンビック株式会社  
ザ・ビッグエクストラ野洲店  
（野洲市乙窪）

## 本会よりお知らせ

広告掲載事業につきましては、次回の会報112号で掲載します。  
多くのご参加をお願いします。



# 消防救助技術訓練の激励を実施！

令和4年8月22日（月）、湖南広域消防局消防訓練センター（野洲市辻町）において、第50回全国消防救助技術大会（令和4年8月26日（金）・東京都立川市）に出場する訓練隊員の激励会が実施され、当協会からは、北中会長が訓練隊員に対する激励を行いました。

なお、第50回全国消防救助技術大会には、第45回滋賀県消防救助技術指導会で優勝した2チーム（はしご登はん、ロープ応用登はん）が出場され、共に優秀な成績を収められました。



激励の様子



**第57回滋賀県消防操法訓練大会出場  
に伴う会長激励**

滋賀県消防操法訓練大会が3年振りに開催され、湖南4市消防団のみなさんは猛暑の中、長期にわたる厳しい訓練を実施され、大会では優秀な成績を収められました。

湖南防火保安協会では、会長・副会長が大会前に各訓練会場に激励出向され、挨拶と激励金を手交されました。

激励日には要員（選手）の節度ある機敏な動きを見せていただき、感動されたものです。

改めて消防局・消防団との繋がりをより強固なものとし、さらには地元自治会等と連携した地域防災力の向上に貢献していく必要があると強く感じました。

## 「令和4年度防災講演会」を開催

# 「企業に求められる災害対策」

日本は世界的にみても自然災害が多い国であり、毎年のように地震、台風、梅雨前線豪雨（線状降水帯）などの災害による企業の被害が続いている。

そこで企業・組織は、自らを守るための災害、事故に備えることが必要です。また、取引先企業の活動中断により、被害のない企業の活動に大きな影響を生じる被害の波及にも取り組む必要があります。

これらのことから「危険に気づく、どうするか考える、そして行動をおこす」ことで災害から企業を守ることに繋がります。

このような貴重な情報を得て頂く為の防災講演会を開催します。是非御聴講ください。

●日 時 令和4年11月28日(月) 15時00分から16時30分

●会 場 クサツエストピアホテル「瑞祥の間」

草津市西大路町4番32号 (Tel077-566-3333)

●定 員 150名

●講 師 人と防災未来センター主任研究員

河 田 慈 人 氏



### ☆プロフィール

平成23年4月より京都大学防災研究所巨大災害研究センターにて防災教育や地域住民との防災活動など専門に研究をされ、在学中に英国オクスフォード大学及び、英国ロンドン大学へ留学された。平成30年4月より人と防災未来センターの主任研究員に就かれ、兵庫県・神戸市・和歌山県の学校防災アドバイザーや栗東市の防災会議委員など、多くの委員や講師を務められています。

また、人と防災未来センターより自然災害発生時には被災自治体支援員として派遣され、現場感覚を持たれた研究者としてご活躍されています。

# 秋の 火災予防運動

## 2022.11.9~11.15



### 《飲食店における防火安全対策の徹底》

近年、コンロによる火災は、建物火災の出火原因で最も多くなっています。また、飲食店におけるコンロ火災のうち約6割がその場から離れている間に発生したものです。飲食店におけるコンロ火災は急激に延焼拡大するケースが多く、水による初期消火は困難となります。

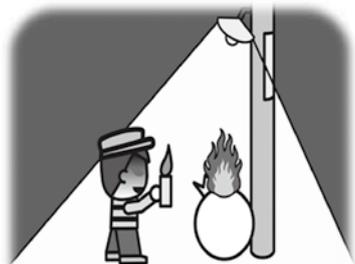
コンロ使用中の監視人の配置、厨房設備の排気ダクト内の定期的な清掃等を行い、コンロからの出火を防止してください。

### 《事業所における放火火災防止対策の徹底》

全国における令和3年中の放火及び放火の疑いによる火災は3,859件発生しており、全火災件数35,077件の1割強を占めていることを踏まえ、放火火災防止対策のより一層の強化が必要です。



## 不特定多数の方が出入りする建物や大量の可燃物が存在する大規模倉庫の対策



- ①死角となりやすいトイレやバックヤード等の整理整頓をする。
- ②従業員や警備員による巡回や侵入監視センサー、警報器、センサー付き照明等の防火・防犯設備等を設置する。
- ③「放火火災対策強化中」や「監視機器により監視中」等の注意喚起表示をする。
- ④屋外に可燃物を放置しない。

### 《防災物品の使用の徹底》

火災の延焼拡大の防止のためには、防災物品の使用が重要です。特に、高齢者や障害者等が入居する社会福祉施設では、家具や布団、シーツ等も防災製品の使用を推奨します。なお、高さ31メートルを超える共同住宅の居住者等に対しても、防災物品の使用が義務づけられています。ご自宅のカーテンなどが防災物品か確認してください。



## 感染症対策

インフルエンザは毎年11月下旬から流行します。また、新型コロナウイルス感染症はまだまだ終息には至っていません。インフルエンザにも新型コロナウイルス感染症にも、感染しない、感染させないためには予防が大切です。こまめに手洗いをして、正しくマスクを着用し、「密接、密集、密閉」しない！を心掛けましょう。

## 冬季の予防救急

冬季は特に、外気温と室内との温度差により身体に負荷がかかり、急な血圧の変動により心臓病や脳卒中のリスクが高まります。これを「ヒートショック」と言います。

「ヒートショック」を起こしやすいのは、冬場のトイレや脱衣所、浴室です。予防方法として、部屋間の温度差をなくすことや、入浴前と入浴後に十分に水分補給し、体内の水分を減らさないようにすることが重要です。



### YouTube「湖南広域行政組合チャンネル」「誰でもできる応急手当シリーズ」



## 危険物取扱者・消防設備士のみなさんへ

あなたの免状は大丈夫ですか？

交付日から10年を過ぎた免状は更新（法定）が必要です。

※「消防法施行規則」第33条の5及び「危険物の規制に関する規則」第51条第2項に免状の記載事項は過去10年以内に撮影した写真とすると定められています。

問い合わせ先



一般財団法人 消防試験研究センター滋賀県支部

〒520-0806  
滋賀県大津市打出浜2番1号 コラボしが21 4階  
TEL 077-525-2977 FAX 077-521-7904

## 消防用設備等の確実な点検を！



消火器用

「点検済証」(ラベル)を貼付しましょう

点検実施者の責任の明確化、点検の確実な履行の促進等を目的とした点検済表示(ラベル)制度は、全国統一的に推進しています。



消火器以外の  
消防用設備等用

### 一般社団法人滋賀県防火保安協会連合会

〒520-0044 大津市京町四丁目3番28号(滋賀県厚生会館2階)  
TEL 077-521-3921 FAX 077-521-3761  
Eメール shiga-bouka@green.ocn.ne.jp